

I 「生き生き安心なまち」の実現

※〈 〉内は、「決算事項別明細書」の該当ページを表しています。

①安心して住みつつけられるまち

1 保健医療の充実

(1)地域医療の充実

〈129・189 ページ〉

○ 市立稚内病院の運営及び整備

【経営改善プラン初年度】

- ・ 地方公営企業法の全部適用
- ・ 病院独自による接遇研修
- ・ 患者満足度調査の実施
- ・ 本院棟の外壁改修及び施設整備
- ・ X線血管撮影装置等医療機器の整備
- ・ 病床数 362 床
- ・ 病床利用率 79.5%(1日平均 288 人)

○ 市立稚内こまどり病院の運営

- ・ 療養型病床数 45 床
- ・ 病床利用率 92.3%(1日平均 42 人)

(2)成人保健対策の充実

〈123・125・127 ページ〉

○ 保健事業

事業内容	区分	平成18年度	平成19年度
健康教育	実施回数	56回	60回
	受講者数	2,409人	2,558人
健康相談	実施回数	104回	104回
	実施人数	573人	656人
訪問指導	実施人数	77人	59人
健康手帳の交付	交付者数	541人	496人

○ 各種検診事業

事業内容	区分	平成18年度	平成19年度
胃がん検診	受診者数	1,306人	1,314人
子宮がん検診	受診者数	657人	1,071人
乳がん検診	受診者数	546人	546人
肺がん検診	受診者数	2,115人	2,078人
大腸がん検診	受診者数	1,338人	1,322人
基本健康診査	受診者数	1,683人	1,649人
骨粗鬆症検診	受診者数	679人	675人
前立腺がん検診	受診者数	669人	687人
肝炎ウイルス検査	受診者数	—	240人

(3)母子健康対策の充実

<123 ページ>

○ 各種診査等の実施状況

事業内容	区分	平成18年度	平成19年度
乳幼児健康診査など			
3～4ヶ月児 健康診査	健診回数	12回	12回
	受診者数	341人	324人
7～8ヶ月児 健康相談	相談回数	15回	15回
	受診者数	315人	325人
1歳児 健康相談	相談回数	15回	15回
	受診者数	337人	333人
1歳6ヶ月児 健康診査	健診回数	15回	14回
	受診者数	347人	290人
3歳児 健康診査	健診回数	15回	15回
	受診者数	317人	331人
股関節脱臼検診	検診回数	12回	12回
	受診者数	372人	327人
マタニティ教室	実施回数	28回	28回
	受講者数	370人	233人
育児教室	実施回数	6回	6回
	受講者数	86人	103人
妊婦健康診査	受診件数	715件	671件
母子訪問	実施者数	282人	266人
ママと子のクッキング教室	実施回数	3回	3回
	受講者数	96人	68人

事業内容	区分	平成18年度	平成19年度
フッ素塗布事業	実施回数	52回	40回
	受診者数	1,390人	1,302人
サホライド塗布事業	実施回数	52回	40回
	受診者数	125人	100人

○ 特定不妊治療費助成事業(利用人数15人)

- ・ 特定不妊治療を行っている夫婦の経済的負担を軽減し、少子化対策の推進を図るため特定不妊治療費用の一部を助成

(4)感染症予防対策の充実

<125 ページ>

○ 各種予防対策の実施状況

事業内容	区分	平成18年度	平成19年度
予 防 接 種			
三種混合	接種者数	1,263人	1,277人
ポリオ(小児マヒ)	接種者数	676人	628人
風 疹	接種者数	29人	2人
麻 疹	接種者数	1人	0人
麻疹・風疹混合(MR)ワクチン	接種者数	595人	629人
ジフテリア・破傷風	接種者数	332人	264人
結核予防対策			
結核検診(X線)	接種者数	560人	531人
BCG予防接種	接種者数	328人	323人
エキノкокクス症血液検査	受診者数	110人	332人
高齢者等インフルエンザ予防接種	接種者数	4,313人	4,751人
肺炎球菌ワクチン接種 ※新規	接種者数		563人

(5)健康管理システムの充実

<123・125 ページ>

○ 健康管理データベース事業

- ・ 各種健康事業における個人データベースの収集整備
- ・ 健康管理台帳の整備
- ・ 住民に対する検診結果通知

(6)健康づくり事業

<115・125 ページ>

- 健康づくり講演会の開催 114 人受講
- 8020 運動を推進し、基盤整備を実施
- 各地域での健康相談や健康教育の開催
- 健康増進センター(温泉「童夢」)管理運営事業
 - ・ 平成 18 年 4 月 1 日 指定管理者制度へ移行
 - ・ 平成 19 年 8 月 7 日(開館 3,565 日目) 入館者 280 万人達成
 - ・ 平成 20 年 1 月 5 日(開館 3,711 日目) 入館者 290 万人達成

[利用状況]

	平成 18 年度	平成 19 年度	開館からの累計
営業日数	351 日	352 日	3,794 日
入館者数	284,514 人	246,814 人	2,950,656 人
うち観光客	16,690 人	18,740 人	349,867 人
うち外国人	3,075 人	1,450 人	23,278 人
月平均利用者数	23,710 人	20,568 人	22,873 人
日平均利用者数	811 人	701 人	778 人

(7)国民健康保険事業

<225 ページ>

- ヘルスアップ事業 15 件
- 人間ドック検診 166 件
- 基本健康診査 741 件
- がん検診 3,208 件
- インフルエンザ予防 2,638 件

(8)後期高齢者医療事業

<113 ページ>

- 平成 20 年度より開始される同制度を円滑に進めるため、保険料徴収システムの開発等を行った。

2 安全なまちづくりの推進

(1)防災対策

<85・87 ページ>

○ 災害対策備蓄事業

※ 平成 19 年度整備実績

- ・ ポータブル水洗トイレ(パーソナルテント含む) 1 組
- ・ スティックパン(備蓄食糧) 100 パック
- ・ アルファ米(備蓄食糧) 300 食
- ・ 敷きマット 20 枚
- ・ 充電ラジオ 10 台

※ 主な備蓄品の平成 20 年 3 月 31 日現在の備蓄数合計

備蓄品	備蓄数
毛布	800 枚
敷きマット	180 枚
アルファ米(備蓄食糧)	1,500 食
スティックパン(備蓄食糧)	200 個
ポータブル水洗トイレ	1 基
トイレ用パーソナルテント	1 基
組立式簡易トイレ	40 個
簡易土のう	360 枚
1t用コンテナバッグ	280 枚
携帯ラジオ	50 台
懐中電灯	50 本
ひしゃく	200 本
ペール缶(バケツ型)	265 個
ビニール合羽	224 着
防臭マスク	200 枚

○ 総合防災訓練実施事業

- ・ 稚内市総合防災訓練の実施(平成 19 年 8 月 31 日)
18 機関・約 370 人参加 (自主防災組織 3 組織も参加)

○ 自主防災組織育成事業

- ・ 自主防災訓練への支援
大黒二自主防災訓練の実施

○ 防災啓発事業

- ・ 稚内ふれあい広場 24 ふくしフェスタにおいて防災普及啓発(平成 19 年 9 月 1 日)

ブース設置

- ・ 町連協活動研修会において防災をテーマに研修会を実施
- ・ 稚内高等学校(教職員・生徒 約 600 人)で防災講座を実施 (出前講座)
- ・ 稚内市民防災講座を開催

(2)交通安全の普及啓発

<93 ページ>

○ 交通安全推進事業

- ・ 交通安全啓発資材の購入、夜光反射材 ほか

[事業実績]

事業内容	区分	平成 18 年度	平成 19 年度
交通安全教室・講習会 (幼児～高齢者)	開催回数	56 回	53 回
	参加人数	3,700 人	3,615 人
交通安全大会	開催回数	2 回	2 回
	参加人数	500 人	500 人

(3)交通安全施設の整備

<149 ページ>

- 区画線整備 中心線 12,906 m、外側線 21,038 m、ドット線 1,000 m
- 安全標識 11 基
- 分離帯標識 4 基
- 大型案内標識 1 基

3 除排雪体制の整備

(1)交差点除排雪の充実

<151 ページ>

- 交差点除排雪業務委託事業

(2)凍結路面の解消

<151 ページ>

- 融雪剤・砂散布業務委託事業

(3)融雪設備の整備

<151 ページ>

- 融雪設備設置助成事業 助成総数 25 件
 - ・ 融雪機(槽) 7 件
 - ・ ロードヒーティング 18 件

4 消防・救急体制の整備

(1)消防施設などの整備

<161 ページ>

- 消防水利整備事業
 - ・ 消火栓
 - 新設 3 基(栄 1 ・萩見 3 ・開運 2)
 - 移設 1 基(富岡 2)
 - 取替 5 基(富岡 5 ・声問 1 ・声問 2 ・萩見 4 ・港 2)
- 訓練塔安全ネット取替 1 式

(2)救急救助体制の整備

<161 ページ>

- 救急救命士 (資格取得者 8 人)
特定医療行為(医師の指示の下で行う救急救命処置)

	19 年度	累 計
気管挿管資格取得	1 人	3 人
薬剤投与資格取得	1 人	2 人

②高齢者、子どもたち、障害者がふれあうまち

1 高齢者の福祉

(1)介護サービス事業

<303 ページ>

○ 各種事業の利用状況(利用延人数)

事業名	平成18年度	平成19年度
特別養護老人ホーム事業	30,322人	30,948人
短期入所事業	4,130人	4,481人
デイサービス事業(富士見園)	5,367人	5,288人
デイサービス事業(潮見園)	9,559人	9,395人
訪問入浴事業	56人	44人
介護予防支援事業	1,494人	2,937人

(2)介護予防対策の充実

<287・289 ページ>

○ 介護予防特定高齢者施策

事業内容	区分	平成18年度	平成19年度
運動器機能向上事業	実施回数	18回	44回
	参加者数	54人	209人
栄養改善事業	実施回数	11回	8回
	参加者数	12人	10人
口腔機能向上事業	実施回数	7回	17回
	参加者数	13人	30人
訪問型介護予防事業	対象者	2人	9人
特定高齢者把握事業	基本チェック実施数	652人	707人
	決定者数	15人	91人

○ 介護予防一般高齢者施策

主要内容	区分	平成18年度	平成19年度
講演会など ◆認知症を考える市民の集い ◆認知症予防教室(脳の健康教室) ◆キャラバン・メイト養成講座	実施回数	47回	89回
	延受講人数	2,054人	2,699人

主 要 内 容	区 分	平成 18 年度	平成 19 年度
相談事業 ◆高齢者健康相談事業	実施回数	77 回	82 回
	延参加人数	902 人	989 人
その他 ◆介護予防手帳の交付	交付者数	127 人	79 人

(3)包括的支援事業などの実施(地域包括支援センター) <115・287・289 ページ>

○ 各種事業の実施状況

事 業 名(内 容)	区 分	平成 18 年度	平成 19 年度
◆総合相談事業 (在宅介護支援センター委託分含む)	延相談人数	5,449 人	5,075 人
◆地域ケア支援事業 (地域ケア会議、部会の開催)	開催回数	18 回	11 回
◆権利擁護事業 (高齢者虐待、認知症など)	延相談件数	87 件	379 件
◆介護予防ケアマネジメント (特定高齢者の介護予防プラン)	作成者数	11 人	32 人

○ 宗谷北部介護認定審査会の開催

- ・ 49 回開催 … 稚内市分認定件数 1,468 件 (実人数 1,305 人)

○ 認定調査の実施 1,500 件 (市直営調査 864 件、委託調査 636 件)

(4)高齢者サービス事業

<113・289 ページ>

○ 各種事業の利用状況

事 業 名(内 容)	区 分	平成 18 年度	平成 19 年度
◆居宅介護(ホームヘルプ)事業 (介護認定で自立の判定を受けた方で一定の基準を満たしている場合、希望により週 2 回の生活支援)	延利用人数	68 人	57 人
	延利用回数	293 回	248 回
◆デイサービス事業 (介護認定で自立の判定を受けた方で一定の基準を満たしている場合、希望により 2 週 1 回の通所介護支援)	延利用人数	42 人	27 人
	延利用回数	79 回	52 回
◆配食サービス事業 (一人暮らしなどの理由で、調理が困難な高齢者世帯に配食と安否の確認を行う)	実利用人数	313 人	309 人
	延利用食数	4,292 食	4,892 食
◆外出支援事業 (一般の交通機関の利用が困難な高齢者の移動手段として、特殊仕様の車両により外出活動を支援)	利用登録者数	142 人	145 人
	延利用回数	1,853 回	2,085 回

事業名(内容)	区分	平成18年度	平成19年度
◆家族介護用品支給事業 (要介護4又は5の低所得者に対してオムツなどを購入できるクーポン券を交付)	申請登録者	57人	51人
	延支給件数	678件	566件
◆緊急通報装置運営事業 (日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置して、急病などの緊急時に対応)	設置台数	88台	79台
◆簡易型緊急通報装置(あんしんコール)運営事業 (65歳以上の一人暮らしの方の高齢者宅に簡易型の緊急通報装置を設置して、緊急時に対応)	設置台数	183台	188台
◆社会参加活動事業			
バス乗車支援事業	対象者数	6,257人	6,524人
JR乗車支援事業(抜海・勇知地区)	対象者数	97人	94人
◆入浴支援事業	対象者数	8,984人	9,053人
	延利用人数	32,682人	31,091人
◆敬老祝品及び敬老祝金支給事業			
敬老祝品	支給人数	423人	518人
敬老祝金	支給人数	77歳	332人
		88歳	84人
		100歳	7人
◆訪問理美容サービス事業 (障害などのため理美容院に出向くことが困難な方の居宅において、理美容師が訪問のうえサービスを実施)	延利用人数	5人	10人
◆訪問歯科診査事業 (歯科医院に出向くことができない状態にある方の居宅において、歯科医師が訪問し、治療を行うための診査実施)	延利用人数	1人	0人
◆重度要介護者居宅サービス利用支援事業 (要介護4又は5の方を在宅で介護している低所得者の方に対する支援)	利用登録者数	33人	23人

(5)各種活動への支援

<113 ページ>

事業名	区分	平成18年度	平成19年度
老人クラブ育成事業	クラブ数	46ヶ所	45ヶ所
	会員数	2,214人	2,166人
長寿ふれあい交流事業	助成町内会	70町内	70町内
	助成対象者数	6,506人	6,750人

(6)高齢者福祉施設整備事業

<115 ページ>

○ 地域介護・福祉空間整備等交付金

- ・ 事業主体 社会福祉法人緑ヶ丘学園

- ・ 事業内容 認知症対応型共同生活介護事業所の施設整備に対する助成

2 障害者等の福祉

(1)障害者自立支援法による福祉の推進

<109・111・115 ページ>

○ 給付状況

区 分		利用者数(延)	備 考	
介護給付等事業	介護給付	在宅訪問系	135 人	
		在宅通所系	1,630 人	
		施設入所・入居	1,353 人	
	訓練等給付	自立・就労支援	12 人	〔障害程度区分調査 95 人 介護給付等支給審査 78 人〕
		共同生活援助	193 人	
自立支援医療	更生医療	(身体障害者)	144 人	
補装具給付事業		障 害 者	80 人	
		児 童	27 人	
地域生活支援事業 (主なもの)	日常生活用具	障 害 者	522 人	
		児 童	109 人	
	コミュニケーション支援		奉仕員(手話・要約筆記)派遣	
	地域活動支援		障害者地域活動支援センター 1ヶ所開設	
	相談支援		障害者相談支援センター 3ヶ所開設	
	身体障害者福祉タクシー		148 人	

(2)その他社会福祉

<111 ページ>

○ 特別障害者手当等

区 分	利用者数(延べ人数)
特別障害者手当	402 人
障害児福祉手当	237 人
福 祉 手 当	24 人
外国人高齢者	26 人

○ 福祉灯油支給事業

- ・ 低所得の高齢者、障害者、母子世帯に対して灯油の購入費を一部助成(315 世帯)

○ 燃料高騰緊急対策事業

- ・ 石油価格の高騰により厳冬期の採暖に困難をきたすおそれのある高齢者世帯(低所得)に対し、灯油 100 リットルを支給した。(462 世帯)

③子育て支援のまち

1 子育て環境の整備と少子化対策

(1)児童福祉対策

〈115・117・119・121・185 ページ〉

○ 家庭児童相談・母子家庭自立支援事業

- ・ 家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、相談及び指導を行う。

[相談件数]

相談内容	平成 18 年度	平成 19 年度
養護相談(児童虐待含む)	47 件	73 件
障 害 相 談	4 件	4 件
非 行 相 談	件	1 件
育 成 相 談	7 件	5 件
そ の 他 相 談	46 件	29 件
合 計	104 件	112 件

- ・ 母子自立支援員(1 人)を配置し、母子家庭の自立支援及び相談に当たる。

[相談件数]

相談内容	平成 18 年度	平成 19 年度
生活一般(医療など)	30 件	37 件
児童(養育・就職など)	19 件	23 件
経済的支援・生活援護	191 件	252 件
合 計	240 件	312 件

○ 児童手当給付事業

- ・ 家庭における生活の安定を図るため、小学校修了前の児童を養育する者に支給する。

[受給児童数]

区 分	平成 18 年度		平成 19 年度	
	3 歳未満	小学校修了前 特例給付	3 歳未満	小学校修了前 特例給付
被 用 者	6,663 人	20,538 人	6,667 人	21,328 人
非 被 用 者	2,147 人	7,593 人	2,343 人	7,940 人
特 例 給 付	160 人		54 人	
合 計	8,970 人	28,131 人	9,064 人	29,268 人

※ 平成 19 年 4 月から制度改正により 3 歳未満の児童に対し月額 10,000 円を支給。

○ 児童扶養手当給付事業

- ・ 父と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立促進のために支給する。

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度
全部支給者	3,157 人	3,084 人

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度
一部停止者	2,041 人	1,911 人
2 子加算	2,175 人	2,064 人
3 子以降加算	555 人	520 人
合 計	7,928 人	7,579 人

○ ファミリー・サポート・センター事業

- ・ 会員同士が子育ての相互援助活動を行う組織。

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度
お願い会員(依頼会員)	193 人	202 人
まかせて会員(提供会員)	58 人	61 人
両 方 会 員	34 人	43 人
計	285 人	306 人

○ つどいの広場事業

- ・ 乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、子育てへの不安感や負担感の緩和を図る。

年 度	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳以上児	計	保護者数
平成 18 年度	796 人	1,649 人	1,219 人	569 人	4,233 人	3,739 人
平成 19 年度	552 人	1,503 人	1,401 人	1,047 人	4,503 人	3,911 人

○ 保育所運営事業

[平成 19 年度 児童数]

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計	定 員
白樺保育所	7 人	12 人	19 人	20 人	25 人	19 人	102 人	100 人
港 保 育 所	6 人	13 人	12 人	19 人	18 人	21 人	89 人	100 人
北 保 育 所	人	7 人	5 人	6 人	1 人	人	19 人	100 人
(公立保育所 計)	13 人	32 人	36 人	45 人	44 人	40 人	210 人	300 人
富岡保育園	7 人	12 人	14 人	11 人	14 人	13 人	71 人	60 人
もぐもぐ保育園			9 人	6 人	9 人	6 人	30 人	30 人
(私立保育所 計)	7 人	12 人	23 人	17 人	23 人	19 人	101 人	90 人
(市内保育所 計)	20 人	44 人	59 人	62 人	67 人	59 人	311 人	390 人
声問保育所		1 人	4 人	2 人	8 人	6 人	21 人	80 人
沼川保育所				1 人	5 人	3 人	9 人	50 人
勇知保育所			1 人	5 人	1 人	4 人	11 人	30 人
恵北保育所		1 人	5 人	1 人	2 人	4 人	13 人	30 人
宗谷保育所				7 人	14 人	7 人	28 人	60 人
(へき地保育所 計)		2 人	10 人	16 人	30 人	24 人	82 人	250 人
合 計	20 人	46 人	69 人	78 人	97 人	83 人	393 人	640 人

※ 平成 19 年 4 月 1 日に定員 30 人の認可保育所(私立保育所)開設

○ 保育所保護者負担金助成事業

- ・ 子育て家庭に対する経済的負担の軽減を図るため、子どもが2人以上いる家庭へ保育料の一部を助成する少子化対策事業（18歳までの兄弟姉妹を同時入所とカウントし、当該保育児童を第2子または第3子として取扱い、支払い済の保育料に対し助成する。）
- ・ 助成児童 延べ178人（1/2助成延べ98人、1/10助成延べ31人、1/4助成延べ49人）
- ・ 助成額 13,562,531円

○ 私立幼稚園保育所建設事業費補助事業

- ・ 私立幼稚園による子育て支援センター機能を有した幼保一元化施設整備に対する補助事業
- ・ 保育所建設分補助金71,120千円（保育所分60,986千円 支援センター分10,134千円）
60人定員 延べ面積1,766.11 m²

○ 学童保育所運営事業

[利用状況]

	1年生	2年生	3年生	合計	定員
中央学童保育所	6人	18人	3人	27人	35人
緑学童保育所	18人	25人	14人	57人	60人
富岡学童保育所	31人	15人	11人	57人	35人
東学童保育所	13人	12人	9人	34人	25人
合計	68人	70人	37人	175人	155人

○ 児童館運営事業

- ・ 児童館活動、「子ども通貨タラ」事業

[利用状況]

(単位:人)

	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	合計	クラブ	パソコン
東児童館	205	8,711	1,029	1,232	146	11,323	0	11,543
富岡児童センター	2,529	11,169	2,213	400	4,974	21,285	5,914	3,173
港ふれあいセンター	831	4,344	489	77	1,627	7,368	2,264	1,996
中央児童館	27	7,116	654	0	40	7,837	0	2,806
富士見児童会館	54	326	425	25	109	939	915	369
南地区プレーパーク	42	8,570	5	0	0	8,617	0	0
対象別合計	3,634	40,768	4,390	1,713	7,702	58,207	9,093	10,269

(2) 幼稚園教育の充実

<185 ページ>

○ 幼稚園入園費助成事業

- ・ 子育て家庭に対する経済的負担の軽減を図るため、私立幼稚園入園費の1/2(20,000円を上限)を助成する少子化対策事業
- ・ 助成児童数 285人

・ 助成額 5,760,000 円

○ 私立幼稚園運営費補助金(7 幼稚園 9,110,000 円)

○ 私立幼稚園就園奨励費補助金(7 幼稚園 47,396,650 円)

[対象児童の状況(前期)]

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
稚内カトリック幼稚園		4人	5人	3人	12人
稚内ひかり幼稚園		21人	46人	43人	110人
稚内大谷幼稚園	1人	10人	16人	21人	48人
稚内富岡幼稚園	1人	34人	75人	43人	153人
稚内幼稚園	4人	16人	30人	27人	77人
稚内鈴蘭幼稚園	1人	27人	52人	54人	134人
萩見幼稚園	1人	17人	22人	21人	61人
年齢別合計	8人	129人	246人	212人	595人

[対象児童の状況(後期)]

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
稚内カトリック幼稚園	1人	4人	5人	3人	13人
稚内ひかり幼稚園	3人	22人	46人	44人	115人
稚内大谷幼稚園	6人	10人	16人	21人	53人
稚内富岡幼稚園	3人	35人	77人	43人	158人
稚内幼稚園	7人	16人	31人	28人	82人
稚内鈴蘭幼稚園	5人	30人	53人	55人	143人
萩見幼稚園	5人	17人	22人	21人	65人
年齢別合計	30人	134人	250人	215人	629人

④教育環境を改革するまち

1 学校教育の振興

(1)教育環境の整備

<163・165・167 ページ>

- 外国語指導助手の配置
 - ・ 小学校及び中学校全学校へ派遣し、英語教育の強化を図った。
 - ・ 外国語指導助手 2人
 - ・ 小学校派遣日数・授業時数 87日・195時間
 - ・ 中学校派遣日数・授業時数 219日・592時間
 - ・ 市民講座講師 37日（受講者 43人）
 - ・ 英語暗唱大会 2日
 - ・ ALTワーキング会議 8日 ALT全体会議 4日
- 教育活動支援助手派遣事業(学生ボランティア派遣事業)
 - ・ 小学校及び中学校へ学生ボランティアを派遣し、学習指導及び不登校児童生徒への支援を行った。
 - ・ 登録者数 14人(うち臨時登録1人)
 - ・ 派遣学校数 4校
(中央小学校4日、港小学校17日、潮見が丘中学校46日、稚内中学校46日)
- 教育研究所の充実
 - ・ 多様化・複雑化している教育現場を支援するための調査・研究・教職員の研修などを行い、更なる教育の振興・発展のため事業を展開した。
 - ・ 学校教育指導員(2人)、専任所員(1人)の配置
 - ・ 研修等実施回数 22回
実施内容 「小・中学校英語指導研修会」、「特別支援教育交流・研修会議」、「望ましい生徒指導のあり方」ほか
- 学力検査の実施
 - ・ 全国学力検査を実施し、各校の現状を分析し、指導方法の工夫・改善に向け取り組んだ。
- 教育相談事業・不登校対策事業
 - ・ 不登校問題、問題行動等の課題に行政として迅速に対応できる専任の指導員を配置
 - ・ 学校教育指導員 2人
 - ・ 不登校対策専任指導員 1人
 - ・ 心の教室相談員 4人（稚内中学校・南中学校・東中学校・潮見が丘中学校）
 - ・ 学生ボランティア 11人
 - ・ 教育相談件数 1,143件
 - ・ つばさ学級開級日数 201日

- 学校評議員設置事業
 - ・ 開かれた学校づくりの推進と、学校がより地域と連携・協力しながら特色ある教育活動を発展させるため、評議員を配置
 - ・ 評議員 68人
 - ・ 小学校意見聴取項目 79件 うち改善項目 32件
 - ・ 中学校意見聴取項目 65件 うち改善項目 29件
- 小学校運営事業・中学校運営事業
 - ・ 運動会等学校行事における不測の事態に備えるため、市立学校 20校全校にAED(自動体外式除細動器)を配置
- 特別支援教育支援員の配置 **※新規**
 - ・ 学校における生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行った。
 - ・ 支援員 11人
 - ・ 配置校 4校 (中央小学校、南小学校、東小学校、潮見が丘小学校)
- 子どもと親の相談員等活用調査研究事業(北海道からの委託事業)
 - ・ 問題行動等の予兆の早期発見・未然防止体制の充実及び校内体制の充実を図った。
 - ・ 子どもと親の相談員 1人
 - ・ 配置校 東小学校
- 学校図書館支援センター推進事業(国からの委託事業)
 - ・ 市立図書館と連携し、学校図書館の活性化を図った。
 - ・ 協力校への協力員の配置
 - ・ 配置校 5校 (中央小学校、南小学校、東小学校、潮見が丘小学校、港小学校)
- 小・中学校学力STEP(ステップ)アッププロジェクト(北海道からの委託事業)
 - ・ 地域の教職経験者などの人材を有効活用し、「わかる授業と基礎・基本の確実な定着」による「確かな学力」の向上を図るため、理解の遅い児童や授業に集中できない児童に対し、その原因や指導方法を探るなど、実践的な調査研究を行った。
- 少人数教育事業
 - ・ 市費採用教員 9人
 - ・ 配置校 4校(中央小学校、南小学校、東小学校、潮見が丘小学校)
 - ・ 対象 小学校 1～2年生 少人数学級
小学校 3～6年生 少人数指導(国語・算数)
 - ・ 成果 [少人数学級]
 - 入学時及び低学年の学校生活適応指導の徹底が図られた。
 - 個々の実態に即したきめ細やかな指導ができ、基本的な生活習慣や学習規律の定着、学習における基礎基本の確実な定着が図られた。
 - [少人数指導]
 - 個に応じた学習指導が行え、基礎基本の定着が図られた。
 - 学力差の大きい教科において、学力低位の児童への指導の充実が図られた。

2 社会教育の充実とスポーツ、芸術・文化の振興

(1)社会教育の推進

<171 ページ>

- 第6次稚内市社会教育中期計画の4年目にあたり、推進方策並びに振興計画を遂行し、市民と行政の協働による「共に創り出す」社会教育の推進に努めた。

【成人教育】

- 市民講座の開設

《前期》 脳の健康教室、定年後の楽しみ方講座 ほか 計 10 講座 受講者 135 人
《後期》 ふるさと地域学、季節のお料理 ほか 計 7 講座 受講者 78 人
計 17 講座 受講者 213 人

- 成人式典 成人出席者 350 人（対象者 443 人）
- 出前講座 木工作、エコバックづくり、そば打ち、しめ飾り ほか計 16 講座
受講者延べ 320 人

【高齢者教育】

- 高齢者大学の開講
 - ・ 楽生大学(声問地区) 11 講座 受講者延べ 205 人
 - ・ 長寿大学(宗谷地区) 10 講座 受講者延べ 68 人

(2)青少年の健全育成

<171・173 ページ>

- 子育て運動の推進
 - ・ 平和学習の充実(平和学習資料の配布、愛と平和を考える子ども会議 ほか)
 - ・ 子育て意識啓発(稚内市教育講演会、全市子育て運動交流研修会の開催)
- 子ども会活動の推進と支援(46 子ども会)
 - ・ 第8回十夢宗谷の自然探検学校(参加者 160 人)
 - ・ 第42回稚内市子ども会球技大会(4 チーム、参加者 80 人)
 - ・ 稚内市シニアリーダーズスクール(参加者:前期 4 人、中期 4 人)
 - ・ 稚内市ジュニアリーダーズスクール(参加者:前期 11 人)
 - ・ 稚内市リーダーズスクール(参加者 7 人)
 - ・ 第42回稚内市新年子ども会かるた大会(参加者 70 人)
 - ・ 第5回宗谷管内子ども会かるた大会(小学生 15 チーム、中学生 8 チーム参加)
- 青少年の健全育成の推進
 - ・ 街頭補導活動
 - 定例、特別街頭育成補導の実施(年 61 回 211 人参加)
 - 専任育成員による街頭育成補導活動
 - ・ 「校外生活のめあて」配布(配布数 市内小中高校生 4,373 人)

- ・ 非行防止ポスター、標語の募集(ポスター51点、標語22点)
- ・ 有害環境の浄化(有害図書類自動販売機及び取扱店立入調査 ほか)
- 稚内市あすなろ会の活動支援(年12回)
- 障害を持った児童生徒の学校外活動の充実(わっかない風の子教室の活動支援 年8回活動)
- 休日における学校外活動事業の実施
 - ・ 教育委員会主催事業(14回開催)の実施
 - ・ やさいクラブの開設(参加者:小学生18人、幼児7人、親18人)
- 青少年の交流事業の支援
 - ・ 稚内北星学園大学・サハリン国立総合大学交流交換留学事業
 - ・ 太田市交流事業(フレンドシップ2007) 受入
 - 事業内容 記念植樹、体験学習、ソーラン交流 ほか
 - 受入人数 119人
 - ・ 青少年交流体験事業 てっぺん風の子交流団 派遣
 - 事業内容 交流体験学習、ソーラン交流、歴史的建造物・産業の視察、記念植樹
 - 参加者 36人
- 女性教育の充実
 - ・ 稚内市男女共同参画推進条例(平成20年4月1日施行)の策定

(3)生涯学習の振興

<171 ページ>

- 生涯学習の啓発
 - ・ 生涯学習情報の提供(団体及びサークル、指導者情報の提供)
 - 各分野を掲載したリーフレット「学びと遊びの玉手箱」を発行し、各小中学校、町内会、関係施設、一般へ配布
 - ・ 生涯学習推進アドバイザーの配置及び派遣
 - アドバイザー4人を、社会教育センター、少年自然の家へ配置し、生涯学習相談の場を提供するほか、市民グループの要請に応じ派遣
- 学習機会の拡充
 - ・ 生涯学習フェスティバル「2007まなびふれあいフェスタinわっかない」の開催
 - 「ハロウィーンイラスト・ぬりえギャラリー」
 - 「第50回稚内市小中音楽祭」
 - 「いきいき芸能発表会」
 - 「きて・みて・さわって文化センター(子ども編・大人編)」
 - 「シルバーいきいき作品展、市民サークル展示・行政PRコーナー」
 - 「第6回SO-YA夢コール(合同合唱祭)」(協賛事業)
 - ・ 来場者数 延べ4,526人

(4)スポーツ施設の整備と運営

<183 ページ>

○ 既存施設の整備

- ・ 券売機の入替え(総合体育館・市体育館・緑体育館)、設置(緑庭球場・スポーツセンター)
- ・ 施設の補修:総合体育館(給湯配管改修)、大沼球場(バックネット、防護フェンス補修)、水夢館(換気ファンダクト固定ボルト取替工事)

○ スポーツ施設利用状況

施設名	利用者数
総合体育館	49,644 人
市体育館	16,073 人
緑体育館	22,619 人
体育センター	19,481 人
スポーツセンター (カーリング場、弓道場、アーチェリー場)	3,922 人
野球場 (大沼球場、市営球場、緑球場、若葉球場)	37,935 人
球技場 (富士見球技場、若葉球技場)	7,818 人
ノシャップソフトボール場	740 人
庭球場 (緑庭球場、宝来庭球場)	3,606 人
スキー場 (公園スキー場、こまどりスキー場、上勇知スキー場)	26,271 人
東スケートリンク	2,986 人
パークゴルフ場 (こまどりパークゴルフ場、ノシャップ公園パークゴルフ場)	36,106 人
坂の下海水浴場	600 人
学校体育館開放 (東小、南小、潮見が丘小、中央小、港小)	14,470 人
水泳プール (東・南・潮見が丘・沼川水泳・上勇知各水泳プール、水夢館)	107,865 人
(うち温水プール水夢館)	(96,574 人)

(5)スポーツ活動の振興

<181 ページ>

○ 市民スポーツ活動促進事業

- ・ 稚内市スポーツ賞(1 人)、スポーツ奨励賞(1 人)を表彰
- ・ 日本最北端平和マラソン大会(参加者 1,003 人)
- ・ 日本最北端平和駅伝大会(23 チーム、参加者 130 人)
- ・ 体力づくり強調月間事業(年齢別体力測定事業) 2 回(参加者 62 人)
- ・ ニュースポーツの普及・啓発
 - 冬季巡回ニュースポーツ事業(3 会場、参加者 50 人)
 - まちづくり出前講座「レッツニュースポーツ」(1 会場、参加者 15 人)
 - きて・みて・さわって文化センター(スポーツ会場) 2 回
 - ニュースポーツ用具の貸出(32 件、使用延人数 3,260 人)

- ・ウォーキング事業
 - 歩こう会 2回(参加者 57 人)
 - ナイターウォーキング 4回(参加者 136 人)
 - 大歩こう会(参加者 63 人)
- ・市民早起き歩こうラジオ体操会(28 町内会で実施)
- ・各種市民スポーツ活動促進事業
 - ジュニアスポーツ教室(参加者 230 人)
 - 親子スポーツ教室(31 組)
 - 友好都市(石垣市)スポーツ交流事業(参加者 17 人)
- ・(財)稚内市体育協会への事業補助
 - 体力テスト普及事業(18 団体 参加者 485 人)
 - スポーツ少年団育成事業(24 少年団)
- ・スポーツ大会助成事業
 - 全日本 6 人制バレーボール大会
 - 全日本中学生バドミントン選手権大会北北海道大会
 - 全国大会出場補助
- ・市民スポーツ活動意識調査アンケートの実施
 - 市民 1,500 人を対象にアンケート調査(回収率 26.5% 回答数 398 通)

(6)文化事業の促進

<173 ページ>

- 市民かるた大会
- 稚内市民文化祭
 - ・書道展／俳句大会／盆栽展／華道展／茶会／あぼろん展／菊花展／短歌大会／川柳大会
／美術展／舞台発表 ほか
- 主催、共催、後援事業
 - ・BEGIN アコースティックコンサート
 - ・平成 19 年度アートプロデュース体験講座
 - ・稚内子ども劇場公演
 - ・MTC 小さな音楽家たちのコンサート
 - ・第 22 回札幌交響楽団稚内定期公演
 - ・第 21 回ななかまど書道展
 - ・海上自衛隊大湊音楽隊演奏会
 - ・第 45 回北海道吹奏楽コンクール稚内地区予選
 - ・北海道稚内商工高等学校吹奏楽部定期演奏会
 - ・稚内吹奏楽団定期演奏会及びウインターコンサート
 - ・海上保安庁音楽隊北緯 45 度てっぺんコンサート
 - ・稚内市名士カラオケ歌謡祭

- ・ 稚内子供クラシックバレエサークルプリエ発表会
- ・ 第30回稚内地区管楽器ソロコンクール・第31回稚内地区アンサンブルコンクール
- ・ 夏川りみコンサート

(7) 図書館機能の充実

<175 ページ>

○ 図書資料の整備充実と読書啓発事業の展開

[利用状況]

	平成 18 年度	平成 19 年度
入館者数(開館日数)	176,957 人 (293 日)	174,725 人 (291 日)
貸出図書数(市民一人年間冊数)	249,007 冊 (6.09 冊)	242,771 冊 (5.93 冊)
総蔵書数(増加図書数)	155,247 冊 (9,526 冊)	164,419 冊 (9,172 冊)
登録者数(利用者カード保有者数)	15,134 人	16,595 人(1,461 人増)
AV 利用件数	6,544 件	6,450 件

・ 図書館主催事業、資料展示などの展開

映画会 59 回開催 参加者 649 人

読み聞かせ 50 回開催 参加者 576 人

資料展示(「戦争ってなんだったの～戦争と平和を考える本～」、「大人に読んでもらいたい絵本」ほか)

図書館フェスティバル 来場者 500 人以上

夏休み図書館スタンプラリー 参加者 1,027 人

読書感想文コンクール 応募 24 校 235 編

図書館まつり 参加者 750 人以上

子ども読書週間 参加者 220 人以上

アイスクャンドル 2008「夢あかり」 参加者 50 人以上

職場体験学習(市新採用職員研修、学校教員初任者研修・10 年経験者研修)

インターンシップ受入(大学 1 校、高校 5 校、中学校 4 校、養護学校)

○ ブックスタート事業

- ・ 保健課と連携し、毎月保健福祉センターで実施される 7～8 か月乳児健康相談に参加した親子に、絵本 2 冊、読み聞かせアドバイス集などの入った「ブックスタートパック」をプレゼント。

(配布数 親子 325 組)

○ 図書館ボランティア活動の支援

- ・ ブックスタートボランティア ラッコの会(会員数 17 人)

ブックスタート事業のボランティアとして、毎月保健福祉センターで絵本の読み聞かせや子育ての相談に応じる活動を実施。

- ・ わっかない図書館友の会(会員数約 100 人)

読み聞かせ、映画上映会、ハロウィンまつり、アイスクャンドル、図書館フェスティバル、図書館まつり、ロビーコンサート、図書館周辺の環境整備(花壇)などを実施。

- ・ 声の図書館(会員 12 人)

朗読ボランティアとして目の不自由な方たちに声の広報として、毎月2回「広報わっかない」、生活情報として「生活の広場」や、リクエストに応じた朗読テープを送付。

- 移動巡回図書館、団体貸出の充実
 - ・ 運行日数 196 日
 - ・ ステーション数 37 ステーション(月2回)
 - ・ 利用者数 1,808 人(貸出冊数7,521 冊)
 - ・ 団体利用者数 延べ135 団体(団体貸出登録者数28 団体)

(8)少年自然の家の運営

<177 ページ>

- 総入館者数 12,594 人 (前年度比 16.76%減)
 - 内訳 宿泊者数 11,126 人 (前年度比 18.01%減)
 - 日帰り者数 1,468 人 (前年度比 5.95%減)
- 利用者内訳
 - ・ 少年団等の研修 年間 119 団体 2,497 人
 - ・ 各学校の部活動 年間 43 団体 1,455 人
 - ・ 各学校の研修 年間 57 団体 990 人
- 少年自然の家主催事業
 - ・ 自然クラブ(1泊2日) 年間8回 293 人
 - ・ わんぱくチャレンジ(日帰り) 年間5回 547 人
 - ・ わくわく土曜日(日帰り) 年間2回 88 人
- 各学童保育所の受入事業
 - 4団体 172 人
- 「子ども祭り」こどもの日フェスティバルの実施
 - 5月5日 100 人(わんぱくチャレンジの1回目で実施)
- 南極を感じる集いの実施(一般募集を含める)
 - 2月16日 50 人(自然クラブ「第7回雪にチャレンジ」で実施)
- 大学生ボランティアの受入れ
 - ・ 北星学園大学ボランティアサークル「こがくぼ」の受入れ
 - 平成19年度は、主催事業「わんぱくチャレンジ」の企画及び運営に参加・協力をいただいた。5回 学生 延べ40 人
 - ・ 旭川教育大学生が国立大雪青年の家のボランティアとして研修参加した。
 - 1回 引率1人 学生6 人

3 青少年科学館・水族館の運営

(1)青少年科学館の主催事業

<175・177 ページ>

- 平成 19 年度入館者数 12,335 人
- 天文普及事業
 - ・ 市民天体観望会 年 4 回開催 参加者 59 人(宗谷ふれあい公園にて開催1回 25 人を含む)
〔当初開催予定 12 回のうち、天候不良により 8 回中止〕
 - ・ 移動天体観望会 年 2 回開催 参加者 40 人
〔当初開催予定 3 回のうち、天候不良により 1 回中止〕
 - ・ 天文現象観望会 年 2 回開催 参加者 71 人
〔当初開催予定 4 回のうち、天候不良により 2 回中止〕
 - ・ プラネタリウム学習 随時開催(利用校数 21 校、734 人)
- サイエンススクール事業
 - ・ サイエンススクール 年 11 回開催 参加者 160 人
 - ・ シニア・サイエンス 年 3 回開催 参加者 14 人
 - ・ サイエンススタディー 利用校数 2 校、31 人
 - ・ オープンだ！サイエンス 年度開館時開催 参加者 92 人
- プラネタリウム事業
 - ・ プラネタリウム一般投影 入場者 1,038 人
 - ・ 星空と音楽の夕べ 8 回開催 参加者 172 人
 - ・ 星空、夢の贈りもの 2 回開催 参加者 61 人
- 特別事業
 - ・ 「南極写真展 樺太犬タロ・ジロたちの南極」 9 月 5 日～30 日(23 日間) 入場者 1,115 人
 - ・ 「南極観測船 しらせ 保存キャンペーン」 1 月 26 日～27 日(2 日間) 入場者 129 人
 - ・ 「地球の未来を考えナイト～ガイアナイトin宗谷」 3 月 30 日 入場者 30 人

(2)水族館の展示概要

<179 ページ>

- 平成 19 年度入館者数 35,626 人
- 夏期開館式
 - ・ 開館日 4 月 29 日(日)
 - ・ 入館者 731 人(大人 566 人、小人 165 人)
 - ・ 入館者(先着 500 人)に記念品を配布
- 飼育体験学習
 - ・ ペンギン、アザラシの飼育、給餌体験を通して動物とのふれあい(体験校 11 校、生徒数 31 人)
- サマースクールの実施
 - ・ ペンギン、アザラシの給餌、アザラシ池の清掃、夜の水族館の探検

- ・ 参加者 28 人(小学校 4 年生～6 年生対象)
- 夏期開館時間の延長
 - ・ 開館時間を 19 時までとし、2 時間の延長を実施。
 - ・ 実施期間 8 月 4 日～8 月 19 日
 - ・ 時間延長による入館者 193 人(大人 138 人、小人 19 人、幼児 36 人)

4 私学の振興

(1)私学教育の振興

<163 ページ>

- 稚内大谷高等学校振興費補助金
 - ・ 父母負担軽減助成金 @17,100 円×197 人(生徒数)=3,368,700 円
 - ・ 私立学校振興費 5,850,000 円
- 稚内北星学園大学修学資金貸付金/利子補給金
 - ・ 貸付枠 9 億 1,500 万円(預託金の 5 倍)
 - ・ 利子補給率 1.375%
 - ・ 貸付人員 64 人(貸付額 71,240 千円)

⑤財政の健全化を保ち持続可能なまち

1 総合計画の策定

(1)総合計画の策定

<91 ページ>

○ 総合計画の策定 **※新規**

- ・ 現在推進中の第3次総合計画が平成20年度で計画期間の終期を迎えるため、平成21年度から平成30年度までの10年間の計画期間とする第4次総合計画の策定作業に着手した。
本年度は、審議会の設置等総合計画の策定に必要な体制を作り、市民参画を得ながら庁内職員で構成する策定委員により「基本構想」の素案を作成した。

※ 平成19年度実績

審議会(委員25人) 3回開催

市民意識調査(意向・満足度)の実施 回収数780件(有効回収率38.5%)

我がまちわからない未来会議 3回開催 参加者延べ60人

高校生ワークショップ会議 1回開催 参加者19人

各分野別団体等ワークショップ会議 18回開催 67団体、参加者延べ278人

各分野団体意向調査ヒアリング 8団体

基礎調査 都市基盤条件、社会経済条件、関連計画調査、第3次総合計画進捗状況調査(施策の検証)、ほか

2 市民の役に立つ市役所づくり

(1)職員研修の推進

<97 ページ>

○ 研修所などの派遣研修人数 5人

派遣先(研修内容など)	派遣人数
北海道市町村職員研修センター	1人
地方自治法	(1人)
市町村職員中央研修所	2人
法令実務	(1人)
住民税課税事務	(1人)
その他	2人
防災業務研修	(1人)
消費者行政職員研修・職員講座	(1人)

- ・ 建設産業常任委員会行政視察随行 1人
- ・ 民生文教常任委員会行政視察随行 1人
- ・ 総務厚生常任委員会行政視察随行 1人
- ・ 議会運営委員会行政視察随行 1人
- ・ 石垣市・稚内市職員相互交流派遣研修 1人
- ・ コンブ消費流通状況視察研修 1人
- ・ おおたローカルアカデミー 1人
- ・ 自治基本条例関係視察 2人
- 市内集合研修 7回 138人
 - ・ 基本研修 79人
 - ・ 専門研修 59人

(2) 行政改革の推進

<91 ページ>

- 自治基本条例啓発事業
 - ・ 「稚内市自治基本条例」(平成19年4月1日施行)に基づき、市民・市議会・市が協働してこれからのまちづくりを進めるため、広く市民に周知を図った。
 - 啓発リーフレットの作成 1,000部
 - 条例施行PR週間
 - 場所:図書館 期間:4月4日～4月10日
 - 移動PR展
 - 第1回 東地区活動拠点センター(4月24日～5月1日)
 - 第2回 宝来地区活動拠点センター(5月8日～5月15日)
- 行政評価の実施
 - ・ 限られた資源を有効に活用し、事業の選択と集中を図るため、事務事業の見直し方法の一つとして、平成17年度(平成16年度実施事業)から行政評価を行っている。導入初年度は70事業、平成18年度は200事業の評価を行い、本年度は基本的に実施計画に登録されている全事業を対象に(591事業)評価を行なった。今後は、評価結果を的確に反映させ、更なる市民サービスの向上を目指す考えである。
- 財政健全化プランの改訂
 - ・ これまで平成16年度から平成20年度までを計画とした「財政健全化プラン」を策定し、行財政改革に取り組んできたが、国の三位一体改革による影響を背景に、地方財政を取り巻く環境は大きく変化していることから、今後も持続可能な行政運営をなし得る収支均衡のとれた財政基盤を確立するため、プランの改訂を行った。

3 地域情報の推進

(1)行政情報ネットワークの基盤整備

<97 ページ>

- 行政情報ネットワークの高速化
 - ・ 本庁～施設間の通信回線を専用回線から光回線又はADSL回線に変更し、同等のセキュリティを確保しつつ、高速化を図ると共に、通信費の削減に努めた。
- システム開発・保守業務
 - ・ 本市の基幹系システムの開発・保守業務は、基本的に職員が対応する自主開発保守方式により行ってきたが、制度改正等から生じる業務量の増加及び高度な専門技術を恒常的に習得する必要性などから、今後さらに人員増を図らなければならない状況が見込まれる。このことから、よりコンパクトで効率的なシステム運用を図るため、パッケージソフトウェアの導入調査と検討を行った。
- ホームページ維持管理事業
 - ・ 今年度、新たな取り組みとしてホームページのバナー広告掲載を開始し、収入確保に努めるとともに、デザインの刷新に向けての検討を行った。

※ 平成 19 年度実績

アクセス件数	307,342 件
各課ページ更新件数	546 件
バナー広告掲載数	10 枠(9月～3月)

(2)行政情報などの提供

<87 ページ>

- 「広報わっかない」の発行
 - ・ 年 12 回発行(全戸配付)
 - ・ 広報紙作成DTPシステムの導入
- TV広報「稚内市民ニュース」(STV)の放映
 - ・ 年 52 回放映(毎週土曜日) 年平均視聴率 7.5%
- 「FM わっかない」の活用(ラジオ広報)
 - ・ 「ハートフルわっかない」 平日 1 回、土日 2 回放送
 - ・ 「元気はつらつわっかない」 週1回放送
 - ・ 「市政ふれあい通信」 本放送月 1 回、再放送月 1 回 (ウェブラジオ配信)
 - ・ 「学びふるさと再発見」 本放送週 1 回、再放送週 1 回 (ウェブラジオ配信)